

10

2026
OCTOBER
 KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB
熊本にしワイズメンズクラブ

2026年10月3日発行 No.208

CHARTERED 2009



- 国際会長主題 “Waking the Sleeping Giant with Blue Music” 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
 Johan Vilhelm Eltvil (ノルウェー)
- アジア会長主題 “Awakening the Asia pacific with Blue Music” 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
 Rachan Maneekarn (タイ)
- 西日本区理事主題 “Let's keep changing Y's Men! To became the Japan West Regino we want to see”
 「地域社会のリーダーとなり躍動しましょう」 岡村 遍導 (滋賀蒲生野)
- 九州部部長主題 “PASSION” 「～ファミリーとなって、共に育ち合い、よく生きる～」
 横田 博 (熊本ひがし)

熊本にしクラブ会長主題 “出会いを物語に！” ～ Lets enjoy Y`s life ～
 会長 木本 博章

**2026-2027年度 第2回九州部評議会
 第45回九州部部会**

📅 2026年10月3日 (土)
 📍 会場：評議会・九州部部会
 休暇村南阿蘇
 懇親会
 田楽高森の里

11:00～12:00 評議会
 部長・会長・主査の活動報告・議案審議

13:00～15:00 第45回九州部部会
 地震支援活動分かち合い
 シンポジウム「九州部ワイズの未来を語ろう」
 琵琶演奏 水月風麗様 (筑前琵琶おとり座)

16:00～19:00 懇親会
 三味線演奏 藤本喜恵様 三味線藤本流師範
 クラブ紹介など

【ハッピーバースデー】
 10月25日 木本 智子

【アニバーサリー】
 10月21日 亀浦 正行・尚子

今月の聖句

吉田 しのぶ

明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

マタイによる福音書 6章34節

「思い悩むな」とは「心配するな」ということです。

生活のこと、体のこと、人との関わりのことなどなど、わたしたちには心配することが沢山あります。その心配に押しつぶされそうになっているわたしたちの間の合い言葉は「心配するな」です。互いにそう言い合って何とかこのつらい現実を乗り越えたいという思いがあります。けれども、わたしたちの言葉はかけ声だけに終わって、実際にはその思い悩みは尽きないのです。そのようなわたしたちにイエスは語りかけます。「明日のことまで思い悩むな」と。

今日の悩み、今日の苦しみにはまだ何かの手がかりがあり、打つべき手だても考えられます。努力する手応えだってないわけではありません。しかし明日は遠い。待つことの出来ない心がよりいっそう不安を募らせま。それでは今日とどの様に取り組んでいったらよいのでしょうか。

「天の父はあなた方に必要なことをご存じである」とイエスは言われます。明日をその天の父に委ねなければ、今日を確かに生きることは出来ないのです。そして、明日がなければ今日という日は存在しないのです。一日一日をしっかりと生きる、その拠り所は神が備えて下さる明日への希望なのです。明日を信じることの出来ない者にとって今日は、過ぎた過去の思い出を甦らすことしかできません。今日のこの苦しみに耐え抜く力は、明日を信じる望みの中から汲み出すしかないので。明日は思い悩むものではなく、神が備えて下さる確かさへの招きなのです。だから「明日のことまで思い悩むな」とイエスは言うのです。

(日本基督教団小金井緑町教会 日々の聖句より抜粋)

いざ立て

- いざ立て心あつくし 手を挙げ誓いあらたに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
絶えせずめあて望み この身を捧げ尽くさん
- 歌えば心ひとつに とみがきひろがりゆきて
遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン
栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてぬ
 今日ひとひのさち 静かに思う

9月例会出席状況

在籍会員数	17名	例会出席率	81.3%
広義会員数	1名	メイキャップ	なし
例会出席数	13名	メネット	0名
第1例会	13名	コメット	0名
第2例会	7名	ゲスト・ビジター	22名

会長通信

出会いを物語に！

～ Lets enjoy Y's life ～

朝晩は少しずつ涼しくなり、秋の気配を感じるようになりました。とはいえ、日中はまだまだ暑く、「秋さん、そろそろ本気を出してもらえませんか？」と言いたくなる日もあります。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、皆さまくれぐれもご自愛ください。体調管理をしっかりして、元気に秋を迎えたいものです。



熊本にしクラブ18代目会長
木本博章

さて、先日、ヘキサゴン締結式が行われ、新たな仲間を迎えることができました。新しいつながりが生まれたことを、にしクラブ一同大変嬉しく思っております。

ワイズメンズクラブの活動では、さまざまな人との出会いや交流を通して、新しい刺激をもらうことができます。今回の締結をきっかけに、これからどのような交流が生まれていくのか、今からとても楽しみにしています。

新たな仲間が増えると、それだけ話題も増え、もちろん「一緒に飲みながら語る機会」も増えるのではないかと、ひそかに期待しております（笑）。仕事の話から趣味の話、時には他愛もない話まで、顔を合わせて語り合う中から、また新しいご縁やつながりが生まれていくのではないのでしょうか。

人のご縁は、一度の出会いで終わるものではなく、交流を重ねることで少しずつ深まっていくものだと思います。今回いただいた新しいご縁を大切にしながら、これからも会員同士の交流を深め、楽しく、そして笑顔の絶えない活動が続けていきたいと思っています。

これから秋も深まり、さまざまな行事や活動も増えてまいります。皆さまにはぜひ積極的にご参加いただき、たくさんの笑顔と新しい出会いを楽しんでいただければと思います。

今月も皆さまと元気に、そして楽しく活動してまいりましょう。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

◇活動方針

- ・人と人との出会い繋がりを大切にし信頼の輪を広げ、喜びや感動を未来へと繋る。
- ・YMCAとの関係を大切にし地域や仲間との交流を楽しむ。
- ・とにかく交流 !!

◇活動計画

- ・持続可能なCS事業を確立する。（YMCA学院生と共に）
- ・充実した例会にする為、ドライバー委員会を毎月開催

地域奉仕・環境事業

今月のテーマも地域奉仕・環境事業について。

そろそろネタも尽きてきたかなと思っていたところで、ちょうど部会シーズンに突入しました。とはいえ、9月に参加した京都部の部会については他のメンバーが書いていますので、今回はあえて「事業主任の任務」について触れてみます。

正直なところ、昨年も熊本にシクラブから事業主任を輩出しましたが、実際に主任がどんな仕事をしているのか、「西日本区9部の部会に参加して、年4回大阪で役員会に出ている人」という程度の認識の方もいると思います。私自身も、昨年地域奉仕・環境事業委員会に入るまでは同じような理解でした。



地域奉仕・環境事業主任
東 菜保子

主任の仕事は、任期開始より約1年前から始まります。最初のターゲットは毎年11月の次期役員研修会。それまでに事業方針を策定し、翌年3月の次期会長・主査研修会で方針を発表します。その間には、現・直前・次期の主任で構成される事業委員会が開催されます。こうした約1年間の準備期間を経て、ようやく任期のスタート地点に立つことになります。

部会参加や大阪での役員会など、華やかなイメージを持たれがちですが、実際の業務は裏方が多いです。私も7月の任期スタートから、各クラブから事業報告書の提出や資金申請のメールが怒涛のように届きました。

事業報告は、今期の場合、毎月発刊している事業通信のためのまとめ作業。資金申請が届けば、その都度事業委員会を開催し、申請された事業が西日本区のCS事業資金を活用すべき内容かどうかを審議します。可否を連絡し、承認された事業については報告書を受けて資金支給の決済を行います。こうした裏方業務をこなしながら、西日本区キャビネットは毎月Zoomで会議を重ねています。ここ数か月のメインテーマは、あまり知られていない「Youth Action 2026-2027」の報告会についてです。

過去の主任の皆さんが同期で仲良くされているのは、こうした誰にも知られていない裏方業務を共有してきた“戦友”だからなのかもしれません。今回私が主任を務めてみて、初めてその意味が分かりました。

そしてもう一つ。身近な人が役職に就くことで、それまで知らなかったことを知るきっかけになったり、興味を持つ入口になったりするのだということも感じました。実際、去年は国際・交流事業主任がクラブにいたことで、よく知られていなかったiGOについて知ることができました。今期は、私が主任を務め、そして「RBM+」と言い続けたことで、会長がそこに向けた活動を起こしてくださっています。そのおかげで、先月はフィリピン・マカティYMCA総主事から、フィリピンでのマラリアの現状を知る機会にも恵まれました。

次期は、熊本からEMC事業主任、そしてDBCクラブからCS事業主任が輩出されます。せっかく身近に西日本区役員が二人もいるのですから、ぜひ興味を持ってクラブ活動や自己研鑽の幅を広げていきましょう。



フィリピンYMCAの総主事と理事とのZoom会議

9月3クラブ合同例会「リーダーと共に」

町田 宗一郎

3クラブ合同でリーダー会との交流例会が9月1日(火)、ANAクラウンプラザ熊本ニュースカイで開催されました。にし13名、ひがし12名、阿蘇3名、ビジター2名、ゲスト5名、合計35名が参加し、終始和やかで活気のある例会となりました。

オールリーダーの活動紹介に始まり、オールリーダークラブについてグループに分かれてディスカッションが行われました。今の若い世代の方たちは、人と人との関係が希薄になっている部分も多いのではないかと思います。素晴らしいリーダーたちが地域や自然を相手に、さまざまな活動をしていることを知りました。

それぞれの活動を共有し、共感し、そして協働していく。お互いの経験や思いを持ち寄りながら活動を広げていくことは、とても素晴らしいことだと感じました。今回のディスカッションを通して、新しいつながりや今後の活動につながる新クラブができると良いなと感じました。

ワイズメンズクラブとの関係についても、これまで以上にパートナー的な関係を築き、同じ体験を通して地域の活性化、例会への参加や活動報告など、さまざまな機会を通して交流を深め、世代やクラブの垣根を越えて、お互いに刺激を受けながら協力しあえる連携をとりたいと言われていました。ワイズの存続やクラブの若返りに向けても、今回のような交流の機会は大きな意味があると思います。元気を頂けた、いい例会でした。



例会開始前の会場風景



コミュニケーションタイム



にしクラブ ハッピーバスター・アニバーサリー



中原ワイズからビジター寺地さん紹介



リーダー会活動報告に来てくれたリーダー達



活動報告風景



松村ワイズから木本会長に大量の小銭ファンドを贈呈



木本会長の閉会挨拶



にしクラブオリエンテーションをしました

ドライバー 委員長 中西 賢一

木本会長スポンサーの下で、石村君の入会オリエンテーションを行いました。初めての場にもかかわらず、まっすぐに話を受け止めてくれる姿が印象的で、こちらの言葉ひとつひとつが静かに届いていくのを感じる時間でした。

にしクラブが大切にしてきた奉仕の心、仲間と過ごす時間の温かさ、活動を支えるYMCAとのつながり。それらを話しているうちに、気づけば自分自身が少し胸を熱くして、「このクラブを好きでいてよかった」と、ふと心の奥で思う瞬間がありました。

第二例会の話になると、石村君の表情がやわらかくなり、「そんな時間があるんですね」と少し微笑んでくれました。仲間同士が自然体でいられる、あのあたたかい空気を、早く体験してほしいと心から思いました。

国内外の兄弟クラブとのつながりの話では、世界に広がる仲間の存在に驚きながらも、その広がりを楽しそうに受け止めてくれて、その反応がなんだか胸にじんときりました。

入会式は石村君のご事情を考慮し、12月を予定しています。その日、にしクラブの新しい仲間として迎える瞬間を、心から楽しみにしています。

新しいメンバーを迎えることは、クラブにとって特別な出来事です。あたたかい笑顔で、石村君を迎え入れましょう。その一歩が、また新しい「にしクラブの物語」をつくっていきます。



熊本五福幼稚園「わいわい秋祭り」

水元 裕二

毎年恒例の熊本五福幼稚園「わいわい秋祭り」が9月12日(土)に開催されました。

それに先立つ2週間前の8月29日(土)6:15~7:15に、園庭の草取り作業が行われ、にしクラブからも多くのメンバーが参加して、総勢30名くらいで草刈りに精を出しました。今年は園庭の草がほとんどなかったため裏庭の雑草と格闘することになり、ドクダミなど根深い草をどうにか時間内に刈り終えました。各自、汗びっしょりとなりましたが、心地良い疲労感を残しながら、帰宅後のシャワーですっきりした気分になりました。

秋祭り当日は、幸い台風の影響もなく、曇りから晴れの好天に恵まれ、約300名の参加者で賑わいました。

にしクラブは15時集合で、先ず木本会長がにしクラブからの支援金2万円を園に贈呈し、その後、保護者の方々と一緒に焼きそば用のキャベツの準備から作業を開始。

16時からの開会式では、私から「猛暑と熊本地震に見舞われたが、多くの方々の協力により祭りを無事に開催できたことへの感謝と、祭りで得られる益金を園児たちのためだけでなく、熊本YMCAを通して地震被災者の復興支援に生かさせていただく予定である。」ことを開会宣言の中でお話しました。

17時前から食品販売が始まり、にしクラブは昨年同様、フランクフルトとジュース類の販売を担当しました。フランクフルト（前年より50本増の150本）は、無事完売。ジュース類もほどなく完売。ほかのブースの焼きそば、ビール類、かき氷も飛ぶように売れていました。

祭りの中で浴衣コンテストが行われ、審査員を松村リザワイズと水前寺クラブの山下ワイズにお

願いました。実は、どの子もかわいくて優勝者を選ぶのはとても難しいのですが、無事大役を果たしていただきました。

自分たちもノンアルコールビールや焼きそばなどでお腹を満たしましたが、最後に中原ワイズから栄養ドリンクとみたらし団子の差し入れがあり、さらに元気を回復できました。有難うございます。「震災のため夏祭りが中止されたところが多かったので、嬉しかった。」という保護者の声が多く聞かれ、笑顔ではしゃぐ子供たちを眺めながら、無事開催できてよかったと思いました。

少子化と働くお母さん方が増えているため、長時間預かってくれる保育所やこども園と比べると幼稚園は園児募集が年々困難となっています。YMCA熊本五福幼稚園が選ばれる幼稚園となるためにも、今後にもしクラブはできるだけ協力していきたいと思います。

参加されたメンバーの皆様、お疲れさまでした。心より感謝します。



ヘキサゴン締結式

中原 ゆうこ

京都部会の前に、ヘキサゴン締結式に参加させていただきました。

同じ「西」という意味を持つクラブが集まり、つながりを深める締結式に参加し、とても新鮮な気持ちになりました。

今回は東京のクラブも新たに仲間入りし、さらに大きな組織へと広がっていくことを嬉しく感じました。

これからクラブ同士の交流の機会が増え、お互いに親睦を深めながら、さまざまな活動につながっていけばと思います。

また、二次会でもたくさんの方とお話することができ、楽しい時間を過ごすことができました。今回の出会いをきっかけに、これからもっと皆さんとの交流を深め、仲を深めていきたいと思います。

初めての参加でしたが、とても有意義な時間となりました。今後の交流がますます楽しみです。



西連合HEXAGON DBC締結式 & 京都部部会に参加して

岩本 悟

9月5日(土)表記の会がホテルグランビア京都で開催されました。当日は15時からの締結式に向けて、14時に森田代表や小川会長、安田交流主査、西村交流主任と事前打ち合わせを済ませ本番に臨みました。わが木本会長も間一髪間に合いました。締結式の司会進行は私が担当しました。東西両理事を挟んで6クラブの会長が前列に陣取りその後ろに交流主査や交流委員長が並んで開始。6枚の締結書に会長が署名後に東西の両理事が署名され祝辞を述べられました。国際的に6クラブによるDBC締結は非常に稀で国際ニュースにも掲載される予定です。

16時から部会が開始され第1部の中で、6クラブと関係者全員が壇上にあがり西村交流主任によって、事前に締結式が挙行された事が紹介されました。

部会は3部構成になっており、2部は「京料理と包丁」と題して木乃婦の高橋社長と寺久保部長による講演がありました。非常に興味深い内容でよかったです。

3部は懇親会です。約520名の参加、区大会並みの規模で京都部ならではの盛り上がりで交流と親睦を楽しみました。

更に2次会はDBC交流会で一段の盛り上がりです。初めて参加の中原ワイズは如何だったでしょうか？ 翌日のヘキサゴンライングループには、この絆が一段と強化され進化・発展する事間違いなしのようなコメントもありました。参加された皆様お疲れ様でした。



災害ボランティア

岩本 悟

9月10日(木)10時から15時、熊本みなみクラブの山田ワイズ宅の地震被害による壊れた家具や瓦礫撤去のボランティアに行っていました。

九州部主催で、平山書記による呼びかけに賛同し「ワイズメンを支援せずしてワイズメンにあらず」との想いで参加しました。しかし現地に集まったのは平山さんと私の2人。平日ではありますがちょっと寂しい気がしました。

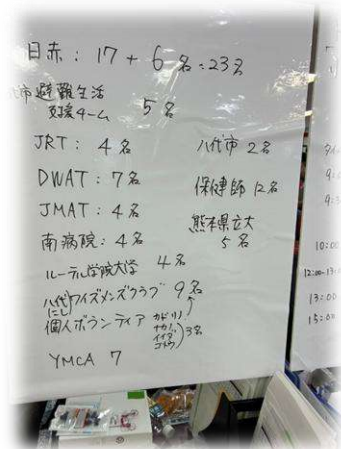
当日は、災害ボランティアセンターからも5名ほど応援があり軽トラ2台で撤去・運搬作業にはいりました。山田宅は、外見は大きな被害はないように見えたが、中は壁が落ちたり家具が散乱してひどい状況だったようです。町の対応に疑問を感じたのは、瓦礫置き場が11時半から13時まで受け付け不可だった事です。被害者の立場からすれば、少しでも早く持ち込んで早く片づけたいとの思いが強いのです。私たちが第1便で持ち込んだのが11時半を少し過ぎていましたから受付してもらえず一旦帰って食事後に出直しました。人数を増やして交代制で受付する事ができないのかと不審に思ったものです。

帰りには、おじいちゃんが作られたスイカを貰って帰りました。冷やして食べたら非常においしかったです。

9月21日(月・祝)9時半から15時 熊本YMCAが運営を委託されている、八代トヨオカ地建アリーナ避難所の「環境改善ボランティア」に参加してきました。

これは運営責任者であるYMCAの丸目さんの依頼を受けて八代クラブの守田ワイズの呼びかけに賛同しての参加です。ワイズでは守田夫婦の他に森律子ワイズと私の4名でした。しかし参加者を見ると仙台から、鹿児島から、長崎や日赤やYMCAからと総勢88名でした。遠くから参加された方々をみると本当に頭が下がる想いでした。

9時半から丸目さんの説明で7班に分かれて既



存のダンボール等を一旦隅にどけて、ブロック毎に簡易テントやカーテンベッドを設置後、入居者の意向を聞きながらダンボールベッドを設置し上置きを置きその上にマットを引いて完成です。

当日は総数約200個位の設置でした。入居者をみるとやはり社会弱者と言われる年配者の方が多かったように思います。この日は炊き出しも行われており昼前から長い長い行列ができていました。地震から2か月近くしてプライバシーも多少は守れる状態になったのですが、この人たちはいつまでこの避難所におられるのだらうと思いましたし、長い長い支援が必要である事を痛感させられました。今後も支援要請があれば積極的に参加いたします。



Green and Blueのオアシス 行こう !! Lake Biwa

Y's Men International

ワイズメンズクラブ国際協会

第30回西日本区大会

2027年

6月12日(土)

びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

前夜祭: 11日(金)
琵琶湖汽船ミシガンナイトクルーズ(浜大津港)

✉ お問い合わせ: nishinihon30th@gmail.com

メインホストクラブ 長浜ワイズメンズクラブ / 彦根シャトーワイズメンズクラブ
 サブホストクラブ 近江八幡ワイズメンズクラブ / 彦根ワイズメンズクラブ
 滋賀蒲生野ワイズメンズクラブ / 高島ワイズメンズクラブ

8月企画例会報告

日時：2026.9.15（火）19:30～

場所：熊本YMCA本館

出席者：岩本/木本/中西/東/水元/吉田(し) /佐藤(記)

メンバー数：17名 / 出席者数：7名

【報告事項】

① 9月例会 プラットホーム交流例会

日時：9月1日 19時開始

参加者：にし 13名、ひがし 12名、阿蘇 3名 ビジター 2名、
ゲスト 5名

合計 35 名

会場：ANA クラウンプラザ 熊本ニュースカイ

② わいわい秋祭り (8/29(土)6:30～草刈り)

日時：9月12日(土) 13:00～準備

会場：五福幼稚園

参加者：水元・中西・東・松村・中原・吉田・木本

・支援金2万円の贈呈を行った。来年以降、協議無しの毎年支援とする

・約300名の来援があり、非常に盛り上がりのある祭りとなった

③ ヘキサゴン締結式

日時：9月5日(土)

会場：ホテルグランヴィア京都(京都部会)

参加者：岩本・中西・東・中原・木本 5名

・6クラブのDBC締結は、世界的にも初の事と思われる為、YMIWorldに締結の様子を寄稿する予定。次回発行されるYMI Worldを是非確認してください

④ 熊本五福クラブファンド会計報告 → 次月行う

⑤ 9月末にて今川ワイズ→阿蘇クラブ移籍 → 確認

⑥ 各委員会より

1. YMCAより 吉田 担当主事会員

2. 西日本区より 東 地域奉仕・環境事業主任

・西日本区にて、各クラブが支援している幼稚園や施設等への支援として、生ごみを利用した肥料作り・チューリップの栽培を行い、プレゼントする。各部から最低1つは支援場所を募る予定

3. 九州部より 橋本 九州部

4. 運営委員会より 水元運営委員長

⑦ その他

・ファンド委員

・10月10日(土)にリサイクルファンドを実施する

・熊本地震被災地災害 9月10日

・山田ワイズ邸の災害ゴミ搬出に参加してきた(岩本)

【協議事項】

1. 10月 九州部部会・第2回評議会(移動例会)

日時：10月3日(土)

会場：休暇村南阿蘇

参加者：木本・東・岩本・橋本・水元・亀浦・中西

・プリテン10月号は、部会日に発行とする

・移動例会の為、部会参加者には、例会費用分をクラブから補助を行う

2. 前進祭 (9/7実行委員会)

日時：10月25日(日)

会場：熊本YMCA

・クラブから1万円を協賛金として支出する。また1万円以内で、にしクラブ賞として提供する。(抽選会商品の為、カタログギフトはどうか？と協議された)

4. インターナショナルチャリティーラン (9/11実行委員会)

日時：11月15日(日)

会場：益城総合運動公園

・にしクラブは、記録・表彰担当となった

・コスチューム賞として商品を2個提供のお願いをもらっている

→ 来月の企画例会にて詳細を協議する

5. CS/RBM活動のついて フィリピン訪問・新春例会(理事参加)

RBM 9/8 マカティYMCA

zoom会議(前田(ジェーンズクラブ)・東・松村・木本)

・CS活動案

ドライバー委員会で、里親会に関わっている方を例会に及びし、何かにしクラブで関わることが無いか？お話を聴いて勉強するのはどうか？という話が出ている。→ 10月以降の企画例会で、お話を伺う時間を調整する。

6. ジャガイモファンド

・販売価格：じゃがいも 2,500円、かぼちゃ 3,400円、

三種 3,800円 玉ねぎ 3,000円

・注文個数：ジャガイモ 165箱、かぼちゃ 75箱、三種 140箱、玉ねぎ 70箱

7. その他

YMCAより

① YMCA世界大会に参加したスタッフ報告の機会を検討してください

・10月/11月辺りの企画例会で調整していく

② クリスマスコンサートの協力願い

・協賛金1万円を拠出する

③ 学院の留学生について、インターンシップ先を探しています

・受入可能な企業等があれば紹介してください

④ 青空キャンプ

・時間が作れる方は、是非ボランティア参加をお願いします

専門学校・熊本五福幼稚園とYMCAの行事〈幼稚園〉

10月1日(木) 2027年度願書受付開始

10月17日(土) 運動会(雨天時順延)

10月23日(金) 10月生まれ誕生会

専門学校・熊本五福幼稚園とYMCAの行事〈専門学校〉

10月10日(土) 第1回入学試験

10月24日(土) 第2回入学試験

10月25日(日) 第58回前進祭

10月26日(月) 前進祭振替休校

10月27日(火) 教育課程編成委員会

熊本YMCA学院通信

吉田 しのぶ

秋は「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と言われるように、気候も穏やかで人が最も活動的に動ける素晴らしい季節です。現在、日本ではアジア競技大会が開催されており、私も連日テレビの前で男子バレーボールの熱戦に胸を躍らせ、大きな声援を送っております。

本校の学生たちもまた、9/19～23にかけて開催される専門学校対抗のスポーツ大会への出場に向け、勝利を目指して日々の練習に励んでいます。各競技に出場する選手は学年や学科の枠を越えて編成されており、お互いに声を掛け合い、積極的にコミュニケーションを深める機会となります。

先日行われた練習試合では、心温まるエピソードがありました。試合終了後、1人の学生が「相手チームにお礼の挨拶に行こう！」と声をかけると、チーム全員で相手のもとへ向かい、感謝の気持ちを伝えたそうです。勝敗だけでなく、教室の講義だけでは得られないこうした貴重な経験や他校の学生との交流を通じ、私たちが日々願っている「人間的成長」が着実に育まれていることを強く実感いたしました。

熊本YMCA学院の最大の強みは、「ヒューマンネットワーク」と「グローバルな環境」にあります。私たちはこの恵まれた環境と強みを最大限に活かし、学生一人ひとりの「人間力」をこれからも大切に育てていきたいと考えております。

ワイズメンズクラブの皆さまのお力添えも必要としています。今後どうぞよろしくお願いします！



編集後記

皆さんは、自動車を運転している時間は何をしていますか？

個人的には、長い期間ラジオを聞くのがメインでしたが、1年・2年経ってくると、番組にも飽きがでてくるものです。最近、遅ればせながらスマホを通して、GPT Liveで、チャッピーと会話することで時間を潰すことが多くなってきました。

最近の、GPT Liveは、本当にスムーズに会話ができ、ついつい、趣味の事を調べたり、ニュースを読み上げてもらったり、病気の治療状況を語り合ったりと、夫婦の会話よりスムーズで頻度も高くなっている始末…。

最近、ニュースで、名高いAI関連の開発者等が、AI開発のスピードを落とすべきというような話題が頻繁に行われていますが、本当に、数年後の未来の姿が判らない世界になってきましたね。どんな便利なものでも、節度を持って、長く付き合いたいものです。

佐藤 通彦

今後の予定

10月 3日（土）	九州部部会・第2回評議会 ※移動例会
10月10日（土）	リサイクルファンド ／ 熊本YMCA創立記念
10月11日（日）	YMCA記念日
10月17日（土）	五福幼稚園 運動会
10月20日（火）	企画例会
10月25日（日）	前進祭